

2013年3月4日

拝啓 ご無沙汰しております。如何お過ごしでしょうか。盛岡一校を1966年(41卒)に卒業し、東北大学修士課程を1972年修了して以来、国内大学、民間、外資系、海外研究機関、省庁大型プロジェクトなど少なからぬ職業を経験しつつ無我夢中で生きてきて、いつの間にかシニアの仲間入りをしました。高齢社会の目安は65歳以上が全体に占める割合ですが、日本のそれは~23%で世界一です。そのことに、自分が貢献しているなんて夢のようです。

シニアの役目は？

ところで、今、日本が直面しているグローバル化の波を前にして、私たちシニアはひっそりと生きるべきなのでしょう？それとも、シニアパワーがもつ巨大な潜在力(姜尚中「悩む力」)を自覚し、グローバルコミュニケーション能力を高めて若さを保ち、社会に正しいインパクトを与え続けるべく、これまでと同じくように努力し続けるべきでしょうか？生き方は人それぞれです。でも、人はもとより生物はすべて、社会の中に投影された自分を見て自分を知るものではないでしょうか。私たちシニアも、いつも社会と繋がりながら向上心を持って努力し続けるのが正しい姿ではないでしょうか。

ハーバードとのほぼ9年間にわたる共同研究の中で培った貴重な人脈を活かしポストンを舞台とする研修活動を企画する組織ポストンブリッジ(BOSTON BRIDGE to higher education, BBhe)を、若い世代への大きな期待を込めて立ち上げました。しかし、自分がシニアの仲間入りをした時に、シニアのための企画も、今の日本に必要ではないかと思うようになりました。3月9日に発売される毎日ウイークリーはポストン特集です。その特集号の中に、私自身がシニアのために企画した**シニアのためのポストン学旅 Bridge to World**を提案しました。もちろん、グローバル化が主題です。以下に概要をご紹介しますが、もし機会があれば、その特集号を手にとってご一読下さい。

シニアのためのポストン学旅 ^{まなびたび} Bridge to World

世界とコミュニケーション塾とハーバードレクチャーという二つの特別な活動を用意しました。世界とコミュニケーション塾は、誰もが参加でき誰にも効果が期待できるコミュニケーショントレーニングの短期合宿です。基礎クラスは、総合的な基礎力を高めることねらい、実践クラスは、英語脳とグローバル脳を「同時に」鍛えるために身体全体の感覚を使ったこれまでにないまったく新しいトレーニングです。ハーバードレクチャーは、グローバル世界を力強く生きるシニアのための特別レクチャー「長寿社会と再生医療」です。レクチャーのあとは、研究室を見学し、そこで活躍する科学者との対話も楽しむことができます。この学旅はシニアらしく少し贅沢に、アメリカの原点ポストンの市内観光、近郊観光、レッドソックス観戦、そして、ニューヨーク観光も用意しました。

アメリカから学ぶものは？

ところで、皆様の中には、「アメリカの時代は終わり、これからは中国だ。何がポストン？」という意見があると思いますが、それは必ずしも正しいとは言えません。グローバル世界は競争社会ですが、その一方では国境を越えた多様なスペシャリストの共生社会でもあります。中国は、一貫して戦争を回避するために儒家と法家を併用しながら統一国家の建設にまい進してきた国であり、その中身は、連合国家であるアメリカや新しい連合体であるEUに近いものです。中国の基盤は、個人の寄せ集めであり、個々が直接コミュニケーションする点で、グローバル社会に似ています。多民族が力をあわせて作った連合国家アメリカは、依然として世界最高のグローバル社会であり、中国もそこから多くを学んでいます。アメリカの原点はポストンです。このシニア学旅を通してグローバルの本当の意味を理解して頂けるとと思います。一緒にポストンで自分を磨きませんか。私も含めて仲間が精一杯お世話します。

敬具

111-0053 東京都台東区浅草橋 1-9-6 日東ビル 9階

NGO BOSTON BRIDGE to higher education

代表 理学博士 蝦名 恵

Phone: 03-3866-5977; Cell: 090-9037-3487

E-mail Office: boston.ebina@bbhe.co.jp; Personal: DQI01242@nifty.com

Website: <http://bbhe.co.jp>